

三木市福祉施設エリアに建つ老人介護施設

特別養護老人ホーム 三木すみれ園 新築工事



「すみれ会グループ」の「すみれ園シリーズ」大規模老人ホーム計画の最終回。

大規模造成地の中に建設された当施設は、周辺を大変豊かな自然と閑静な住宅街で構成されているため、建物高さを抑え3階建てとし、勾配屋根をかけることにより周囲との一体感や連続性を、外観の色合いもこげ茶と白をベースとし周囲との調和に配慮している。施設はショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業などの介護サービスも併設しており、地域と密接に関わり貢献していく。

同グループの老人ホームは当社では4件目の施工となるが、資材高騰のあおりを受けコストダウンに迫られた結果、これまでS造（鉄骨造）だった構造を当社提案で軽量鉄骨造へ変更した。



全景

工事概要

工事名	特別養護老人ホーム 三木すみれ園 新築工事
工事場所	兵庫県三木市志染町青山7丁目1-18
工 期	令和6年4月11日～令和7年1月31日
発注者	社会福祉法人すみれ福祉会
設計者	株式会社K.設計
工事内容	120床の特別養護老人ホーム 構 造：軽量鉄骨造3階建 建築面積：1,819.23m ² 延床面積：4,774.47m ²



ホール



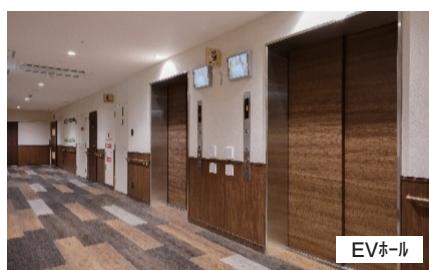
中庭



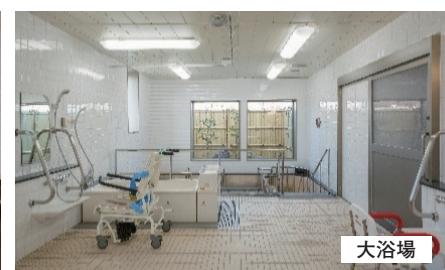
WC



共同生活室



EVホール



大浴場

担当者の声

昨今の資材高騰を受け、S造から軽量鉄骨造へ構造変更となった本物件は、建築部・営業部が一丸となって受注に至りました。

当社では軽量鉄骨造の施工実績が少なく、職員および協力業者ともに施工経験に乏しい構造でしたが、各工程の着手前に全協力業者を招集した調整会議を開催し、未経験部分を相互に補完しながら無災害で竣工を迎えることができました。

着工時は所長が他現場と兼務であったため、主任と新入社員の2名体制でスタートしました。若手社員にとっては負荷の大きい現場となりましたが、本人たちは貴重な経験機会として前向きに捉えているようであり、今後の成長が期待されます。工事終盤には建築部の支援を得て人員を増強し、組織の総力を結集して竣工に向けて推進することができました。



大阪支店 建築部 藤瀬啓泰 (所長) 片岡幸太 重久 勝士郎 亀崎 将 平田武蔵